

＜平成27年度県内小・中学校における農業体験学習実施調査 設問と回答数＞

設 問	回 答			
	小学校	中学校	合計	
1 平成27年度に農業体験学習を実施していますか？	①実施している	271	100	371
	②実施していない	70	80	150

2	(問1で「実施している」と答えた学校に対して) 農業体験学習は、どのように実施しましたか？			
	●取り組んでいる部門	小学校	中学校	合計
	水稻	175	50	225
	大豆	62	9	71
	野菜	171	80	251
	果樹	15	2	17
	花	4	3	7
	そば	9	2	11
	家畜飼養	3	8	11
	農畜産物加工	171	23	194
	その他	13	3	16
	●取り組んでいる学年	小学校	中学校	
	1年生	141	23	
	2年生	161	87	
	3年生	142	13	
4年生	124			
5年生	209			
6年生	108			
●体験学習の場所	小学校	中学校	合計	
校内	177	29	206	
近隣(市町村内)	151	20	171	
県内	20	12	32	
県外	2	51	53	
	●取り組みの形態	小学校	中学校	合計
	一つの作業を体験する単発学習	20	71	91
	植え付け～収穫など一連の流れを体験する学習	260	39	299
	●教科・時間枠	小学校	中学校	合計
	(総合除く)			
	生活	140		140
	理科	28		28
	社会	47	1	48
	家庭・技術家庭	54	29	83
	その他	4		4
	特別活動			
	学級活動	4		4
	児童会行事	2		2
	クラブ活動	2		2
	その他	5		5
	学校行事			
	勤労生産・奉仕的行事	2		2
	旅行・集団宿泊的行事(野外活動)	3	13	16
	その他	23	4	27
	総合的な学習の時間	224	54	278
	教育旅行		31	31
	日曜・休日、夏休み等	3		3
	その他	2		2
	「県外」の内訳			
	岩手県(奥州市, 久慈市, 雫石町, 八幡平市)			
	秋田県(仙北市, 大仙市, 横手市, 美郷町, 羽後町, 田沢湖周辺)			
	山形県(米沢市, 西川町, 舟形町, 戸沢村, 高畠町, 最上町, 白鷹町, 遊佐町)			
	福島県(南会津市, 喜多方市, 猪苗代町)			

3	農業体験学習の実施に当たって支援を受けている組織等 はありますか？(複数回答可)	小学校	中学校	合計	
	PTA	88	6	94	
	県・農業改良普及センター	4	1	5	
	農家・農業法人等	112	43	155	
	農協	99	12	111	
	農業高校・大学	7	1	8	
	国・市町村	31	18	49	
	農家以外の近隣住民	52	3	55	
	企業, NPOなど	15	10	25	
	グリーンツーリズム受入れ団体	4	30	34	
	その他	80	12	92	
	＜具体的に＞				
	小学校: 学校支援ボランティア, 協働ボランティア・コーディネーター, 公民館, 子ども会育成委員会, 市民センター, 地域保全会, 地域ボランティア, 明成高等学校, 老人会, みどりの少年団, 農事組合法人カックス, 角田市農業振興公社, 亘理町農林水産課, 仙台市経済局農政企画課, 仙台市生涯学習課, 仙台市縄文の森広場, 仙台市富沢遺跡保存館, 東北農政局, 堆肥生産組合, 森林組合, 土地改良区, 種苗店 等				
	中学校: グリーンツーリズム推進協議会(奥州, 仙北, 田沢湖, 加美町 等), 教育委員会, 田沢湖ふるさとふれあい協議会, 旅行会社, 田舎体験塾つかの郷, 公民館, 学習支援ボランティア, 南郷高校, 八幡平市坊ちゃん市場, 福島県教育旅行復興支援事業事務所, 南会津観光推進協議会, 宮				

4	農業体験学習を実施する上での課題(又はしない理由)はありますか？ (複数回答可)	小学校	中学校	合計	
	時間枠が確保できない	119	78	197	
	適当な場所(農園)がない	93	40	133	
	経費がかかる	56	45	101	
	準備等に手間がかかる	93	39	132	
	学校として, ノウハウがない	24	14	38	
	学校(教員)の知識・技術の不足	97	24	121	
	外部の指導・協力が得られない	12	0	12	
	学習効果が不明	1	8	9	
	農業以外の体験学習を実施している	5	37	42	
	その他	68	26	94	
	＜「その他」の内容＞				
	小学校: 天候に左右される, 長期休業中等の農園管理が困難, 移動に時間・費用がかかる, 外部協力者との打合せ時間がとれない, 農園が遠く日常的な管理ができない, 協力者の高齢化(後継者探しが困難), 場所・協力者を探すのが困難, 専門的な外部講師必要, 放射能の不安が残る, アレルギー児童対応, 農業地域のため必要性を感じず, 鹿による食害 等				
	中学校: 学校の規模が大きいため受入先を探すのが困難, 農家の生徒が多く必要性を感じない, 学校側と受入農家側で希望日程が合わない, 他行事とのバランスが取れない, 天候に左右される, 受入農家によって体験内容が異なる, 体験先への移動に時間がかかる, 職業体験として農業を希望する生徒が少ない, 鳥獣害がある 等				

5	今後の農業体験学習の取組予定はありますか？	小学校	中学校	合計
	継続して取り組む	208	54	262
	取り組む予定である	45	37	82
	検討中	33	17	50
	取り組む予定はない	44	65	109